

(様式 1)

# 令和 6 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立文花中学校
校長名	遠藤 博則

## 1 本校の学力に関する状況

### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・本校の各教科の観点別平均正答率が全国の平均以下のものが 20/45 観点から 8/45 観点到減少した。</li><li>・1 年国語・数学・英語、2 年国語・数学・理科・英語、3 年国語・数学・理科で 3 観点とも全国正答率を上回った。</li><li>・1 年数学・英語、2 年国語・数学、3 年数学は 3 観点とも全国平均点を 5 ポイント以上上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会は、1 学年で 1 観点、2 学年で 1 観点、3 学年で 2 観点、全国平均正答率を下回っている。</li><li>・理科は、1 学年で 3 観点とも全国平均正答率を下回っている。</li><li>・英語は、3 学年で 1 観点、全国平均正答率を下回っている。</li></ul>

### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・学級の規範意識は、昨年度に引き続き 3 学年とも標準スコアで全国値を大きく上回り学級風土は良好である。</li><li>・学級環境のいじめのサインと、生活・学習習慣の生活習慣は 1・3 学年とも標準スコアで全国平均を + 2 ポイント以上上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活・学習習慣の学習習慣は、1・3 学年とも標準スコアで全国平均 - 2 ポイント以下であった。</li><li>・2 学年は家庭の支え・友だちのささえ・充実感と向上心・思いやりの標準スコアで全国平均 - 2 ポイント以下であった。</li></ul>

### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・昨年に引き続き、漢字、計算、英語コンテストに向けての家庭学習（ホームワークマラソン）や直前 1 週間の朝学習での反復学習が定着し合格率が漢字 93%・計算 81%・単語 81%と向上している。</li><li>・令和 6 年度全国学力・学習状況調査の国語の平均正答率で国を上回った。</li><li>・令和 6 年度全国学力・学習状況調査の数学の平均正答率で、国を + 5 Point 以上上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・英検、漢検、数検の受験率が伸び悩んでいる。これら全ての 3 級以上を取得するトリプルスリーを奨励しているが、達成できた生徒が 9 名 (264 名中) と少ない。</li><li>・令和 6 年度全国学力・学習状況調査の国語の記述式問題の平均正答率で、国は上回ったが都は下回っている。</li><li>・令和 6 年度全国学力・学習状況調査の数学の関数領域の平均正答率で、国は上回ったが都は下回っている。</li></ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 昨年度からの校内研修のテーマ「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を深め、学力向上に向けた取り組みにつなげる。

- ・昨年度と同様に「個別最適な学び」を重点的に深め、「指導の個別化」と「学習の個性化」に焦点を当てる。個に応じた指導・学習方法で学びを進めること、生徒自身が自己の学習をメタ認知し、非認知能力を働かせ粘り強く自己の学習改善を図る能力を育成する。外部講師を招いた講演会・指導教諭の模範授業の校内共有・日々の授業観察とアドバイスを通して学校全体で指導力を向上させ、特にDE層の減少につなげる。
- ・「協働的な学び」については、授業の冒頭での本時のめあての共有、個→小集団→学級→個の思考のサイクルを働かせ、多様な意見を参考に深い学びの実現、教え合い学習の実施、授業の中で ICT を有効活用等で学力の定着を図る。

(2) 昨年度に引き続き、学びに向かう力の向上と、自己肯定感を高める指導を行う。

- ・授業時の約束事を文中 Challenge&Change (文中 CC) として掲示し、授業規律の徹底を図る。
- ・生徒自身が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、授業に計画的に取り入れ生徒のメタ認知能力を高める。
- ・i-check の結果や東京都学習状況調査を分析し、帰りの学活で、「本日の MVP」を発表するなど生徒の他者受容感や自己肯定感、自己有用感を上げるための取り組みに活かす。
- ・年3回の基礎学力コンテスト(漢字・計算・英単語)を通して達成感や成就感を体験させ、自己肯定感の向上を図る。

(3) 補習学習や家庭学習の必要性や重要性を意識させ、学習意欲を高める取り組みを行う。

- ・放課後学習教室や試験前の質問教室などの取り組みを、進路指導部を中心に計画的に実施し、が苦手の克服や学び方を学ぶ機会を保障する。
- ・各教科で「Qubena」や「ミライシード」「ふりかえりシート」「問題データベース」を活用し、授業内でアウトプットを行い、活用方法に習熟させ、家庭学習でも同様に出题し定着を図る。
- ・単元テストや小テストを行う機会を短いサイクルで設けテストの範囲を家庭学習と連動させる。
- ・基礎学力コンテスト前は、出題される問題を「ホームワークマラソン」として配布し、朝学習とも連動させ、繰り返し学習させることで家庭での学習習慣を身に付けさせる。

## 3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・墨田区学習状況調査において、今年度達成できた平均正答率全国比-5ポイント以下の観点0を継続する。
- ・個別最適な学びを進め、DE層を減らし、B層を増やす指導を行う。
- ・非認知能力・メタ認知を働かせる場面を計画的に行い、学びに向かう力を伸ばす
- ・授業中・家庭学習でのアウトプットを徹底し、社会、理科を中心に学力向上を目指す。